

表1 麻疹ならびに熱性発疹症調査表

今年に入り豊明市の小学校、中学校で麻疹の流行がありました。麻疹ワクチンを接種していない生徒が多くを占めているようですが、接種していても軽くかかった生徒もいるようです。麻疹は大変重い病気で死亡することもあります。今後の生徒の健康管理のために以下のアンケートにご協力ください。

麻疹にかかった人はAの欄に、発熱と発疹があったが軽くすんだため麻疹とは思われない人はBの欄に記入してください。

A：麻疹にかかった人

学校名：豊明中学・栄中学・沓掛中学・小学校（学校名 _____）

名前： _____

生年月日： _____

性別：男・女

麻疹予防接種歴：有・無（有りとは答えた人は接種日： _____ 年 _____ 月）

麻疹の経過：

①診断（誰が診断しましたか）：医師（医院名： _____）・家族・その他

②発症日： _____ 月 _____ 日

③学校を休んだ期間： _____ 日間

④発熱期間（38℃以上）： _____ 日

⑤発疹の部位：顔面・体・手足

⑥色素沈着（解熱した後皮膚の発疹が黒ずんで跡が残りましたか）：有・無

⑦入院の有無：有・無（有りとは答えた人は病院名 _____）

⑧感染源（誰からうつりましたか）：学校の友人・兄弟・その他（ _____ ）

B：発熱と発疹が出現したが麻疹と診断されなかった人、あるいは風疹と診断された人

学校名：豊明中学・栄中学・沓掛中学・小学校（学校名 _____）

名前： _____

生年月日： _____

性別：男・女

麻疹予防接種歴：有・無（有りとは答えた人は接種日： _____ 年 _____ 月）

病気の経過：

①病名： _____

②診断（誰が診断しましたか）：医師（医院名： _____）・家族・その他

③発症日： _____ 月 _____ 日

④学校を休んだ期間： _____ 日間

⑤発熱期間（38℃以上）： _____ 日

⑥発疹の部位：顔面・体・手足

⑦色素沈着（解熱した後皮膚の発疹が黒ずんで跡が残りましたか）：有・無

⑧入院の有無：有・無（有りとは答えた人は病院名 _____）

⑨感染源（誰からうつりましたか）：学校の友人・兄弟・その他（ _____ ）

平成14年6月17日 豊明市教育委員会

藤田保健衛生大学医学部小児科学教室

表2 平成14年愛知県豊明市で麻疹が流行した際に麻疹に罹患したと回答した50名

性別	人数	年齢	人数	年齢	男	女
男	29	6	2	6	2	0
女	21	7	15	7	10	5
計	50	8	7	8	4	3
		9	5	9	5	0
		10	4	10	0	4
		11	7	11	5	2
		12	4	12	3	1
		13	4	13	3	1
		14	3	14	3	0
		合計	50	合計	34	16

表3 平成14年愛知県豊明市で麻疹が流行した際に麻疹に罹患したと回答した50名の麻疹ワクチン接種歴と麻疹の臨床経過

	予防接種を受けた	受けてない	全体
男	5	24	29
女	5	16	21
計	10	40	50

平均日数	予防接種を受けた	受けてない	全体
学校欠席の平均日数 ¹	6.7	8.9	8.46
38度以上発熱の平均日数 ²	2.5	4.8	4.34

¹P=0.0832,²P=0.0013

色素沈着の有無	予防接種を受けた	受けてない	全体
有り	5	18	23
無し	5	21	26
空欄	0	1	1

P=0.8278

入院の有無	予防接種を受けた	受けてない	全体
有り	0	5	5
無し	10	35	45

P=0.5687

学校	予防接種を受けた	受けてない	麻疹患者数	全校生徒数	患者発生率(%)
豊明小	0	0	0	333	0.00
栄小	0	0	0	608	0.00
中央小	2	9	11	811	1.36
沓掛小	0	0	0	513	0.00
双峰小	1	7	8	275	2.91
大宮小	1	11	12	340	0.29
唐竹小	1	0	1	224	0.45
三崎小	1	4	5	509	0.98
舘小	0	3	3	302	0.99
豊明中	3	6	9	690	1.30
栄中	1	0	1	562	0.18
沓掛中	0	0	0	585	0.00

図1 平成14年愛知県豊明市で流行した麻疹の月別患者発生数

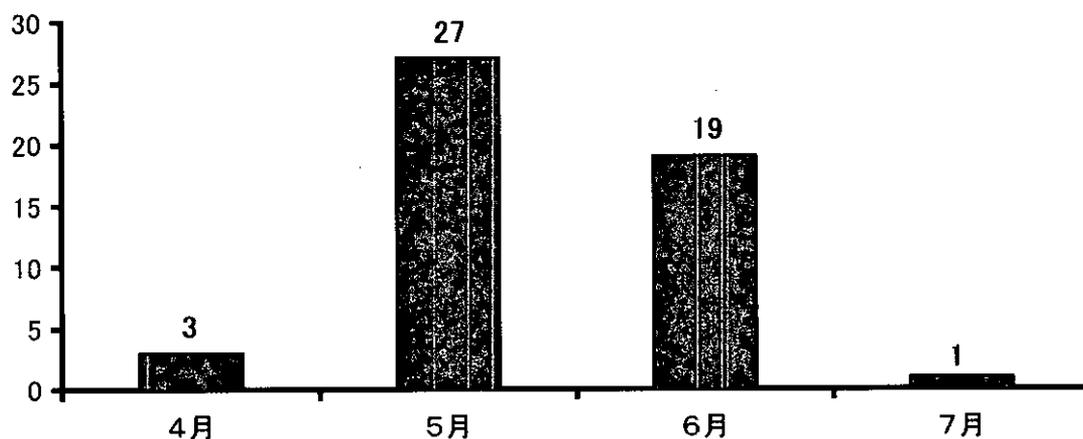


図2 平成14年愛知県豊明市で流行した麻疹の学校別患者発生数

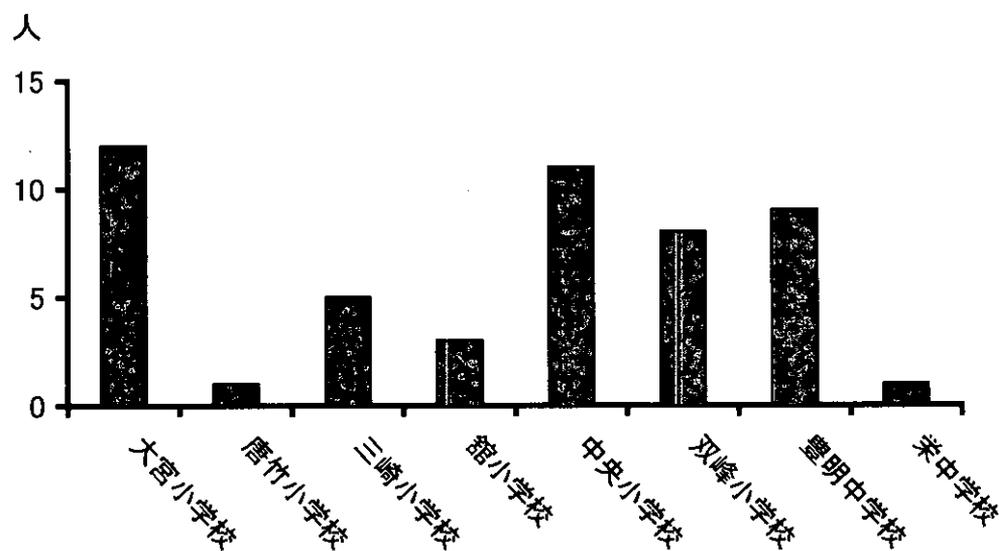
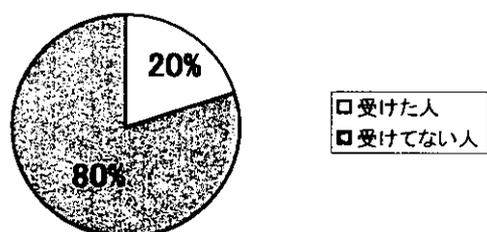


図3 平成14年愛知県豊明市で麻疹が流行した際に麻疹に罹患したと回答した50名の麻疹ワクチン接種歴



個別接種外来の重要性

宮津 光伸（名鉄病院予防接種センター）

はじめに

愛知県西部の地方都市・津島市は、津島神社を中心に発展した古くからの門前町である。現在人口は約7万人程度で推移しているが、10年ほど前から名古屋市へのベッドタウン化の傾向が強くなり、マンション建設に伴う新しい人口の流入が見られていたが、この数年間は落ち着いてきており大きな変動はない。

昭和57年（1982年）に津島市民病院赴任を契機に個別接種外来を開設し、さらに昭和59年からは津島市を中心とした隣接5市町村と契約を結び、「定期接種の洩れ者」を対象として広域の個別接種外来に発展させ現在に至っている。

対象と方法

昭和60年度から毎年、津島市の小学校新入学予定者全員の予防接種カードを入学直前の3月に調査し、ワクチン毎の接種率を検討し、さらにBCG、DPT1期追加（3～4回）、OPV2回の3種類のワクチン完全接種率〔3定期率〕、麻疹と日本脳炎を加えた5種類の定期接種完全接種率〔5定期率〕とを評価した。

接種率の推移

18年間の接種率の推移を図1に示す。60年度の3定期率と5定期率は52%、25%に過ぎなかったが、3定期率で見ると3年後には80%を、5年後の平成元年には86%を超えている。BCG、OPV、DPTは90%を超え、初年度には54%と低迷していた麻疹も88%と驚異的な伸びを示している。積極的な個別接種の機会の提供と担当スタッフへの指導と彼らの理解が得られれば接種率の向上は比較的容易に期待できる。

ベッドタウン化に伴う転入者が増加するに連れてDPT接種率（把握率）が悪くなり、また平成2年に流行した麻疹の影響から平成7年度から9年度にかけてそれぞれの低下が目立っている。転入時に予防接種記録の葉書による報告を進めたところ接種率（把握率）の回復が見られている。最近の2年間はBCG、OPV、DPT、麻疹は90%をはるかに超え、3定期率も90%に、5定期率も80%に迫る成績である。

個別接種外来の効果

平成7年の予防接種法の改正を受けて、平成8年から麻疹ワクチンの個別接種が開始された。図1の麻疹ワクチンの接種率の推移を観ると、平成6年度は89.6%、平成14年度は94.2%と両年度共に高い接種率となっている。しかし図2のように麻疹の年齢別の接種率を比較すると、平成6年度では80%は2歳6か月に、85%は3歳6か月でようやく達成している。一方、平成14年度では80%は2歳前には達成し、3歳前には90%を超えている。集団生活の始まる3歳までにほぼ目的の90%を達成してきているものの、1歳6か月での接種率は60%程度とやや不満足である。麻疹の罹患児の60%が2歳未満で占められ、さらに重症化

の目安である入院児では80%程度であることからすると、1歳6か月までには、80%から85%程度の接種率になるように更なる努力が必要である。なお、平成6年度は集団接種世代、平成14年度は個別接種世代であり、個別接種形式の有効性を示すものと思われる。

ポリオ（OPV）は集団接種であり、両年度とも差は認められない。

DPT三種混合の1期追加（4回目）の接種率でも、個別接種化の効果が見られているものの、1期の初年度の3回はできるだけ1歳までに済ませるようになれば、2歳6か月までには80%に追加接種できるようになるはずであり、まだ十分に改善の余地はある。

おわりに

地域の中心となる、センターとしての個別接種外来を整備すれば、接種率の改善は比較的容易である。対象地域の自治体の予防接種担当者との連携を密にして、常に相談に乗れるような関係が築ければ接種率の維持も可能である。担当者共々さらに努力していきたい。

図1

津島市小学校新入生接種率

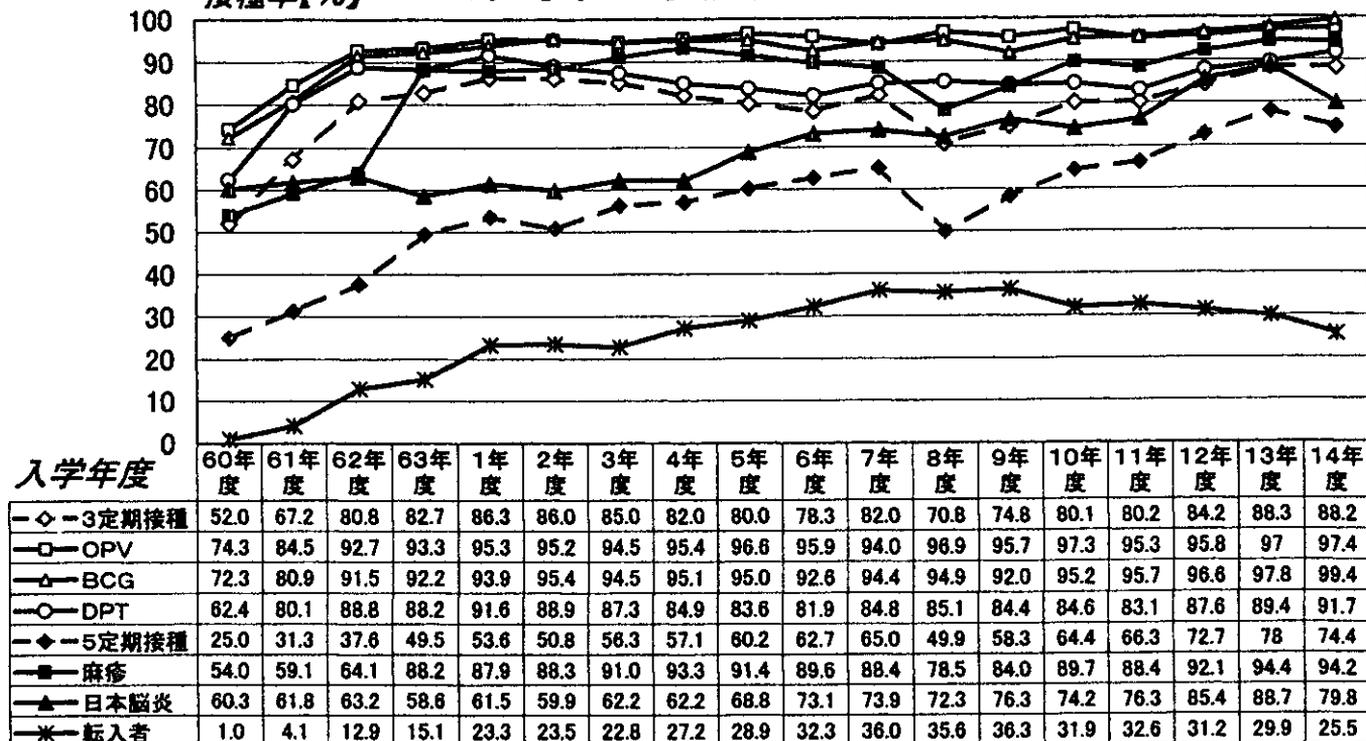
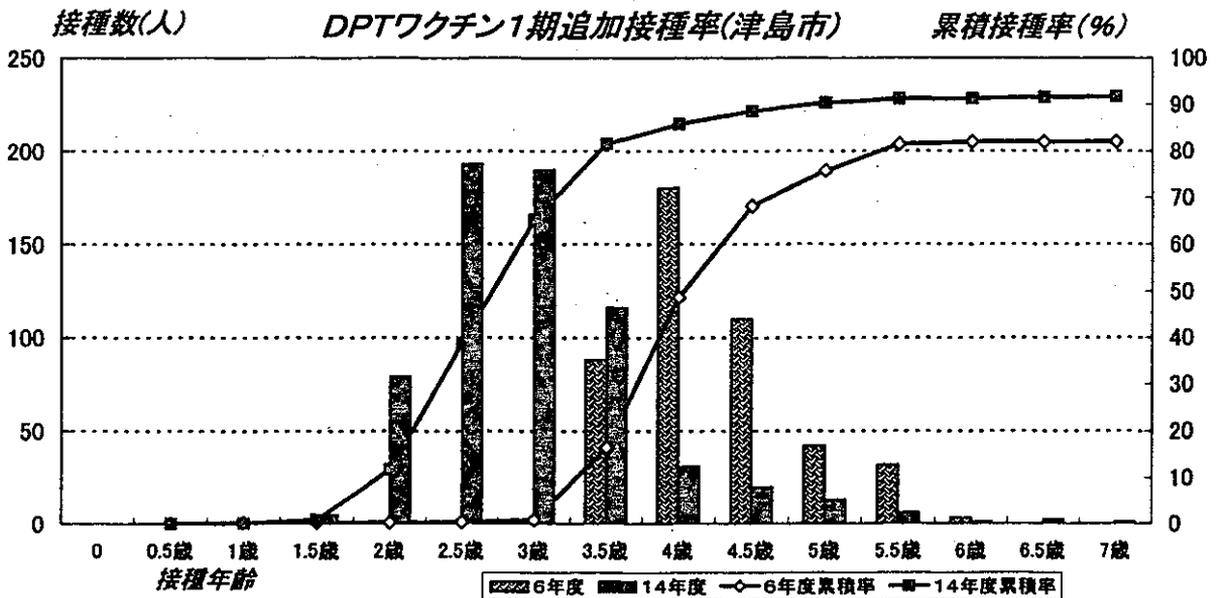
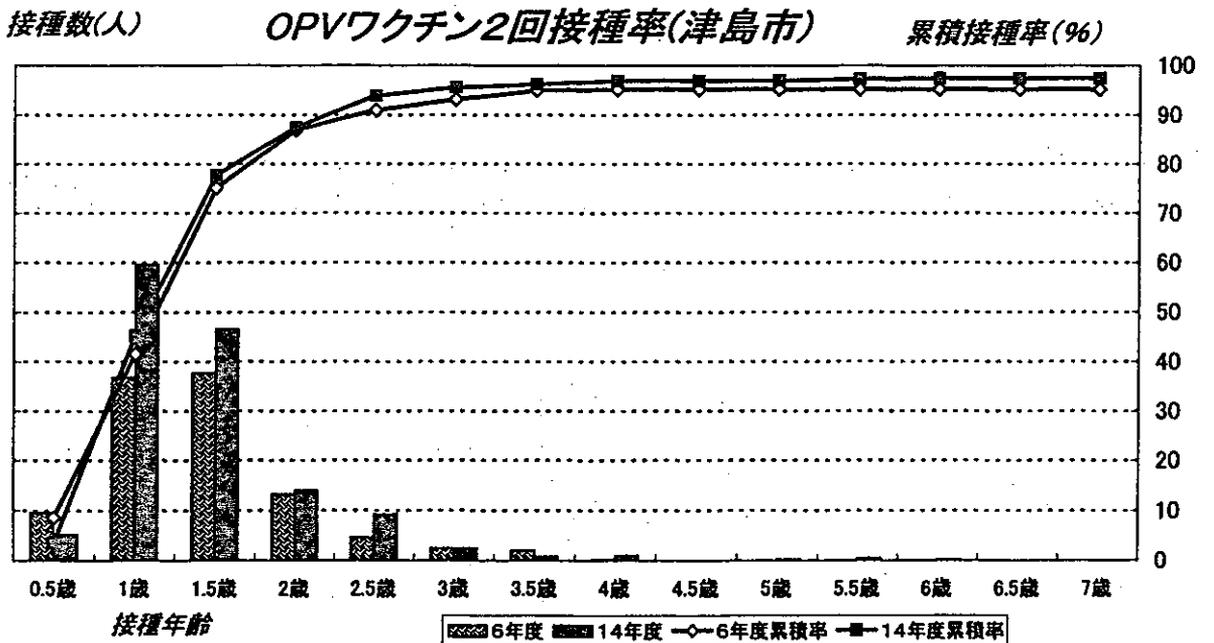
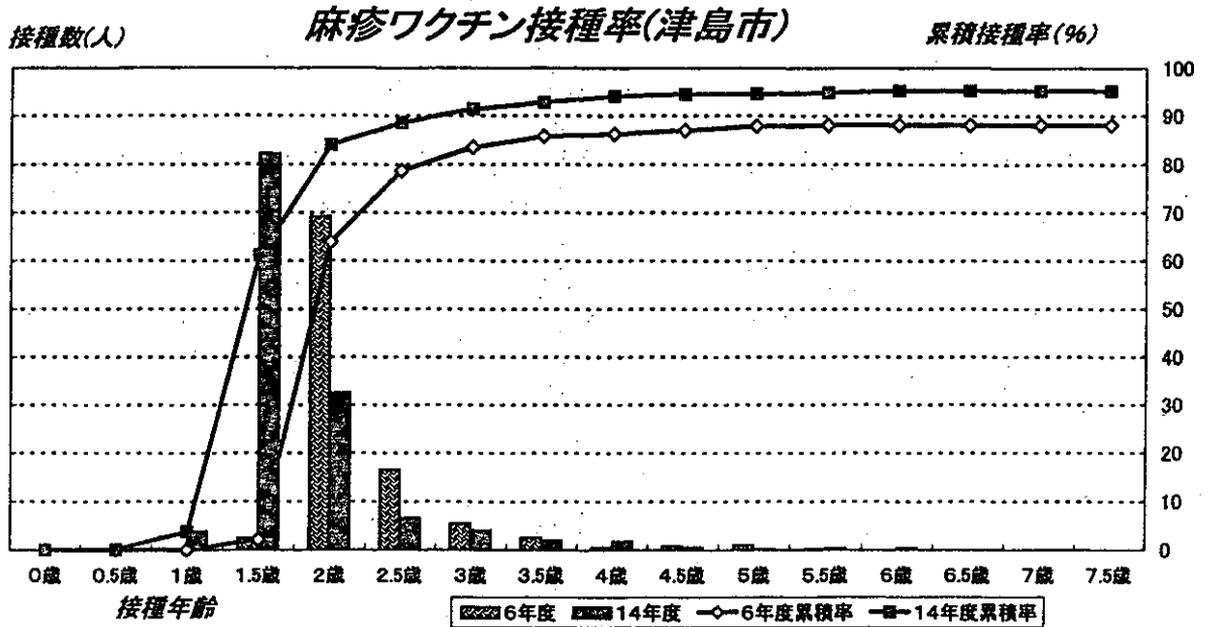


図2



石川県の麻疹予防接種体制の現状と「石川はしかゼロ作戦」

久保 実、中村 英夫、兼松 謙三（石川県小児科医会、石川はしかゼロ作戦委員会）

【はじめに】

昭和 41 年に麻疹ワクチンが導入されてから麻疹発生数は確実に減少はしているものの、いまだに小～中規模の流行が繰り返されている。石川県においても平成 13 年には定点報告数だけで 376 名と最近 10 年間ではもっとも多い発生をみている。

私たち石川県小児科医会では石川県の麻疹発生ゼロを目指して平成 14 年 6 月に「石川はしかゼロ作戦」というプロジェクトを立ち上げた。

今回、「石川はしかゼロ作戦」において石川県内各市町村の麻疹予防接種体制の現状を調査し、いくつかの問題点が明らかになったので「石川はしかゼロ作戦」の今後の取り組みとともに紹介したい。

【方法】

「石川はしかゼロ作戦」委員会から石川県内 41 市町村の予防接種担当者に対し、それぞれの市町村における予防接種体制の現状につき平成 14 年 8 月に一次アンケート、平成 14 年 10 月に二次アンケートを送付した。

（アンケートの内容には麻疹以外の予防接種体制に関するものも含まれている。）

【結果】

一次アンケートには全 41 市町村から回答があった。二次アンケートには平成 15 年 2 月 1 日現在 32 の市町村から回答があった。麻疹予防接種体制に関するアンケート結果の一部を紹介する。

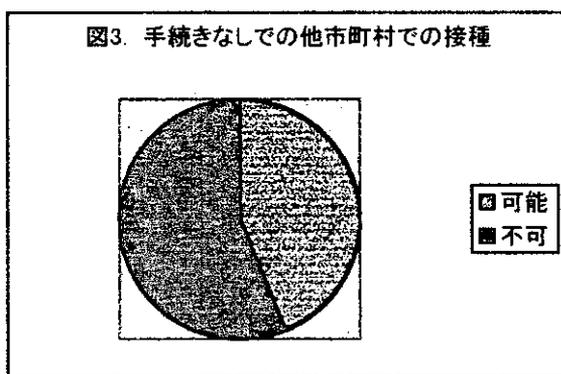
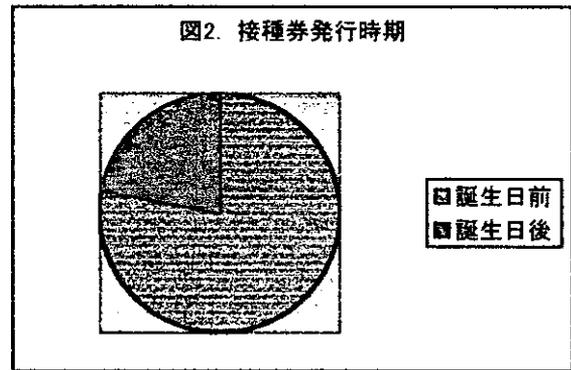
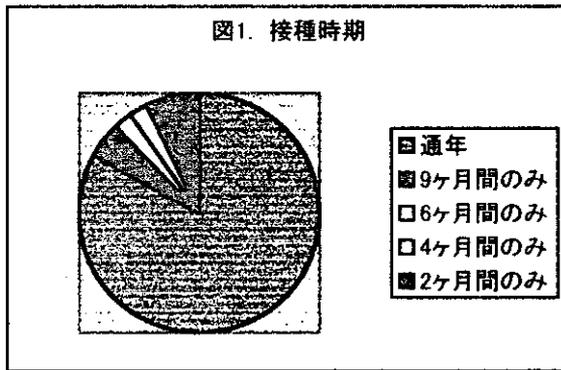
なお、すでに石川県内の全市町村で麻疹予防接種は無料化、個別接種化されている。

1) 「接種時期を限定しているか？」という設問に対し、年間を通しいつでも接種可能と答えたのは 34 市町村で残りの 7 市町村は 1 年のうち 2～9 ヶ月間のみ接種可能との答えだった。(図 1)

2) 「接種対象年齢はいつからか？」という設問に対し、1 市町村のみが生後 13 ヶ月からと答えたが、残りの 40 市町村はすべて生後 12 ヶ月からと答えた。

3) 「接種券の発行時期は？」という設問に対し、1 歳の誕生日前に発行すると答えたのは 32 市町村、1 歳の誕生日を過ぎてから発行すると答えたのが 9 市町村であった。(図 2)

4) 「他の市町村で予防接種を受けるとき、請求書や依頼書などを持参するといった前準備が必要か？」という設問に対し、不要と答えたのは 18 市町村、必要と答えたのが 22 市町村、他の市町村では受けることが出来ないと答えたのが 1 市町村であった。(図 3)



【石川はしかゼロ作戦】

- ・石川県からの麻疹発生ゼロをプロジェクトの目標とする。
- ・そのために以下の作戦を展開する。
 - a) 麻疹予防接種普及のための体制作り。
 - b) より機能的な麻疹サーベイランスの確立。
 - c) 麻疹に関する情報提供および啓発活動。

〔考察〕

麻疹の根絶に向けて今わが国が取り組まなければならないのは1歳になったらなるべく早い時期にすべての子ども達がワクチンを接種できるという体制を整えることにある。それには、「いつでも」「誰でも」「どこでも」「無料で」ワクチン接種を受けることが出来なければならない。

しかし、今回のアンケート結果で示したように石川県の各市町村の麻疹予防接種体制はまだ充分なものとは言い難い。

結果の1) 2) 3) からは予防接種体制の不備という理由から石川県内41市町村のうち12の市町村(29%)で1歳の誕生日に麻疹ワクチンを受けることが出来ないことがわかった。また、面倒な手続きなく他の市町村のかかりつけ医で予防接種が受けられるという、いわゆる予防接種の広域化がなされている市町村は、結果4) で示したように半数に満たない。

今回の調査はこのたび石川県小児科医会が立ち上げた「石川はしかゼロ作戦」委員会が行ったものであるが、「石川はしかゼロ作戦」では各市町村はもとより県、各保健所、医師会、教育機関、報道機関などとの連携を密に取り、なによりもまず上記のような予防接種体制の問題点の改善を図らなければならないと考えている。

「石川はしかゼロ作戦」ではその他、表にあげたような作戦にもとづいて今後の行動を計画中である。

京都府における平成14年度専門的予防接種事業の実施報告

有本 晃子、白井 千晶、土屋 邦彦、細井 創、杉本 徹（京都府立医大）
山添 一郎（京都府立与謝の海病院） 貫名 貞之（国立舞鶴病院）
高屋 和志（公立南丹病院） 清水 恒広、天谷英里子（京都市立病院）
吉田 麻希（済生会京都府病院） 徳永 修（国立療養所南京都病院）
堀井 由博、栗山貴久子（公立山城病院）
松村 淳子、杉野 成、衣笠 昭彦（京都府健康福祉部健康対策課）

【はじめに】

予防接種に関する相談および情報提供を行い、接種率を向上させるため、都道府県単位の予防接種センターの設置がすすめられているが、京都府では平成7年より専門的予防接種事業として、より多くの子どもが接種の機会を得られることを目的とし、市町村から依頼された「接種要注意者」に対する接種を、専門的予防接種機関病院にて行っている。実施状況については、平成10、11、13、14年に経過を本研究班に報告してきたが、今年度は平成14年1月から12月末までの結果について報告する。

【目的】

「予防接種要注意者」とされる症例はどういう症例か、またそのような症例における接種状況および副反応について検討することを目的とする。

【結果】

1 対象

申込延べ数は、237件（男144、女93）であった（以下すべて延べ件数を示す）。

- ・年齢分布（図1）
- ・ワクチン種類別申込件数（表1）

2 申し込み時基礎疾患（表2-1、2-2）

3 接種率（表3）、接種方法（表4）、皮膚テスト（表5、表6）

4 副反応

回答率は84.4%（225件中190件）であった。

- ・副反応定義（表7）
- ・副反応内容（表8）

広義副反応は190件中31件（16.3%）、狭義副反応は190件中22件（11.6%）にみられた。

- ・副反応出現例（表9）

5 接種しなかった例（表10）

【考察】

申し込み時の基礎疾患は「アレルギー疾患」が63.3%ともっとも多く、昨年度までの結果と同様「接種要注意者」とされた主要な原因はアレルギー疾患であった。特に麻疹ワクチン

では「アレルギー疾患」が 91.2%と大半であったが、DPT・DT ワクチンや日本脳炎ワクチンでは「アレルギー疾患」と「過去の予防接種後副反応」がほぼ同数であり、ワクチンの種類によって基礎疾患に明らかな差が見られた。また、麻疹ワクチン申込者で「アレルギー疾患」を基礎疾患とする者の多くが（84.3%）「卵アレルギー」を有しており、「卵アレルギー」は麻疹ワクチン接種におけるリスクとして認識されているという現状がうかがえる。

接種率は平成 10 年頃からほぼ横ばいであるが、不活化ワクチンからのチメロサールの除去など、ワクチンのさらなる改良が進めば、より多くの者が接種できる可能性があると考えられる。

接種方法は、大部分が規定量を接種していたが、減量接種をした例が 4 例あり、内 2 例は皮内テストが疑陽性であり、2 例は過去の同一ワクチン接種後に副反応の既往のある症例であった。

皮内テストは 79 例、プリックテストは 40 例に施行されたが、陽性例がそれぞれ 6 例、2 例あった。本年度は陽性例で接種を行った例はなかったが、皮内テスト陽性者の中にも接種し得る者がいるという報告もみられ、また昨年度までの当研究においても皮膚テスト陽性者に対する接種を行った経験があり、皮膚テストが陽性の場合も接種を検討する余地はあると考えられる。

副反応については、出現頻度は厚生労働省「予防接種後健康状況調査」などと比較しても、特に高率ではなかった。また、アナフィラキシーなど重篤な急性副反応を来した例はなかったが、DPT 3 回目接種後、発熱に伴い 30 分間のけいれんをおこした症例があった（症例 2）。この症例はけいれんをおこしたのははじめてであったが、DPT 2 回目接種後にも発熱しており、このように過去の同一ワクチンで副反応がみられた例においては、保護者に対し副反応出現時の対処法を十分に説明するとともに予備薬（解熱剤や抗けいれん剤など）を準備しておくことも重要であると考えられた。

図1 申込者年齢分布

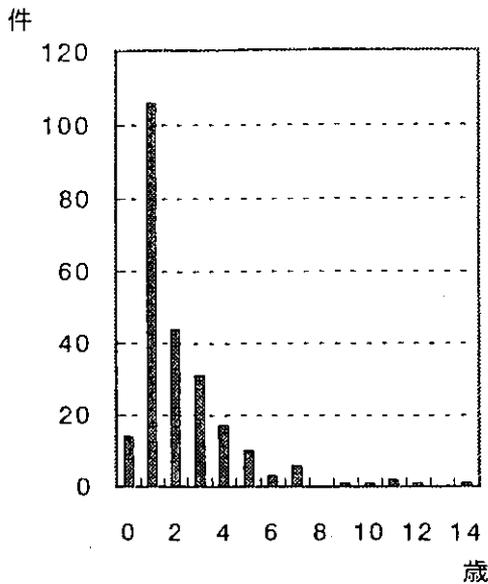


表1 ワクチン種類別申込件数

DPT1期1回目	14
DPT1期2回目	21
DPT1期3回目	21
DPT1期追加	9
DT1期追加	1
DT2期	3
日脳1期1回目	18
日脳1期2回目	25
日脳1期追加	7
日脳2期	1
日脳3期	1
麻疹	91
風疹	25

表2-1 申し込み時基礎疾患 (件、重複あり)

アレルギー疾患 150	食物アレルギー	117
	アトピー性皮膚炎	54
	気管支喘息	18
	アナフィラキシー	15
	薬剤アレルギー	6
過去の予防接種後副反応 57		
神経疾患 39	てんかん	16
	熱性けいれん	16
	PVL	4
	水頭症	3
	その他	7
その他 30	家族の予防接種後副反応歴	7
	極低出生体重児	6
	循環器疾患	5
	乳児肝炎	3
	横紋筋肉腫	3
	乳児白血病	2
	その他	6

表2-2 ワクチン別基礎疾患

(表内数字上段件数、重複あり)

	アレルギー疾患	予防接種後副反応	神経疾患
DPT・DT	25 36.2%	26 37.7%	10 14.5%
日脳	23 44.2%	25 48.1%	17 32.7%
麻疹	83 91.2%	2 2.2%	8 8.8%
風疹	18 72.0%	4 16.0%	4 16.0%

表3 接種率

	平成7-9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年
接種する	69	116	191	183	218	225
接種しない	8	5	9	8	12	12
合計 (件)	77	121	200	191	230	237
接種率 (%)	89.6	95.9	95.5	95.8	94.8	94.9

表4 接種方法 (件)

1回で規定量	220
1回で減量	4
分割で規定量	1

表5 皮膚テスト判定基準

・皮内テスト	陽性	膨疹9mm以上または発赤20mm以上
	疑陽性	対照より膨疹、発赤が大きいが上記反応以下
	陰性	対照反応と同等またはそれ以下
・ブリックテスト	陽性	膨疹5mm以上または対照の発赤に比べ著明に強い
	陰性	膨疹4mm以下

表6 皮膚テスト結果（件）

皮内テスト	
陽性	6
陰性	73

ブリックテスト	
陽性	2
陰性	38

表7 副反応定義

- [広義副反応]
副反応調査はがきに記入されたすべての症状
- [狭義副反応]
局所反応
径5cm以上の発赤、腫脹、1か月以上残存する硬結、
著しい掻痒、のいずれかを伴うもの
- その他の副反応
ワクチン接種後に出現した症状で、明らかに他の原因がないもの

表8 ワクチン別副反応内容（件、重複あり）

広義副反応

	麻疹	風疹	DPT・DT	日脳	計
局所症状	1	0	10	0	11
発熱	5	1	8	1	15
発疹	0	0	2	2	4
その他	1	2	2	2	7

狭義副反応

	麻疹	風疹	DPT・DT	日脳	計
局所症状	0	0	5	0	5
発熱	5	1	6	1	12
発疹	0	0	2	2	4
その他	1	2	1	2	6

表9 副反応出現例

症例1	接種ワクチン	DPT1期3回目
	基礎疾患	予防接種後副反応、アトピー性皮膚炎
	副反応症状	局所症状（接種後2日目より接種部位の腫脹、径7cm、10日間）
	過去の予防接種後副反応	DPT1回目接種30分後、軀幹・顔面に発疹出現、翌日には消失。
症例2	接種ワクチン	DPT1期3回目
	基礎疾患	極低出生体重児、BPD、ASD、PVL
	副反応症状	発熱（接種後3日目から3日間、39℃台）、けいれん（接種後3日目30分間）、発疹（接種後6日目より2-3日間）
	過去の予防接種後副反応	DPT2回目接種3日後より発熱2日間。
症例3	接種ワクチン	DPT1期追加
	基礎疾患	食物アレルギー、アトピー性皮膚炎、気管支喘息
	副反応症状	局所症状（接種後1日目より接種部位の腫脹、5×10cm、6日間）
	過去の予防接種後副反応	ポリオ接種後発熱
症例4	接種ワクチン	白脳1期回目
	基礎疾患	食物アレルギー、アトピー性皮膚炎、気管支喘息
	副反応症状	その他（全身かゆみ、接種当日より約7日間）
	過去の予防接種後副反応	ポリオ接種後発熱、DPT1期追加接種後局所症状
症例5	接種ワクチン	麻疹
	基礎疾患	食物アレルギー、アトピー性皮膚炎、アナフィラキシー
	副反応症状	発熱（接種当日から2日間、38.5℃）
症例6	接種ワクチン	麻疹
	基礎疾患	その他（母が予防接種後ショック症状既往）
	副反応症状	その他（下痢、接種後1日目より8日間）

表10 接種しなかった例

症例	接種ワクチン	理由
1	DPT1期3回目	DPT1回目2回目とも接種後発熱
2	DPT1期3回目	DPT2回目接種直後より傾眠傾向、嘔吐
3	DPT1期3回目	DPT2回目接種後局所反応高度
4	DPT1期3回目	DPT2回目接種後局所反応高度
5	日本脳炎1期2回目	皮膚テスト（ブリック）陽性
6	麻疹	皮膚テスト（ブリック）陽性
7	麻疹	皮膚テスト（皮内）陽性
8	麻疹	皮膚テスト（皮内）陽性
9	麻疹	皮膚テスト（皮内）陽性
10	麻疹	皮膚テスト（皮内）陽性
11	麻疹	皮膚テスト（皮内）陽性
12	麻疹	皮膚テスト（皮内）陽性

大阪府下における予防接種の実施成績に関する研究

村岡 徹二（大阪府医師会予防接種問題検討委員会）

大國 英和（大阪府医師会予防接種問題検討委員会）

上田 重晴（大阪府医師会予防接種問題検討委員会）

伯井 俊明（大阪府医師会）

一居 誠（大阪府健康福祉部感染症・難病対策課）

半野田孝郎（大阪市健康福祉局保健医療部感染症対策室予防課）

大阪府下における麻しん、風しん、日本脳炎ならびに沈降精製百日ぜき・ジフテリア・破傷風混合ワクチン（D.P.T）の定期接種に関する成績

平成13年4月から平成14年3月までの一年間の大阪府下における麻しんワクチンの接種対象者は100,799名で接種実施者は86,759名で接種率は86.1%であった。平成13年は0～2歳にかなりの流行が見られたし死亡例も報告されている。麻しんワクチンが定期接種に組み入れられて本年で四半世紀になる。当初は60～70%の接種率であったが、ここ7年間の接種率は伸びている。平成7年の接種率は81.2%、同8年は83.7%、同9年は86.0%、同10年は81.3%、同11年は87.8%、同12年は83.6%、同13年は86.1%であった。

平成6年に予防接種法が改正されて義務より勧奨接種、集団より個別への接種と変更され、平成7年4月から風しんワクチンが定期接種に組み入れられた。好ましい接種年齢は生後12ヵ月より36ヵ月とされている。接種対象者は生後12ヵ月より90ヵ月未満と、13歳に達する日の属する年度の末日より15歳に達する日の前日までの中学生を対象として実施され、後者は平成15年9月30日で自動的になくなる予定である。

経過措置として昭和54年4月2日より昭和62年10月1日までに生まれ14歳以上の者を対象とし、この対象者も平成15年9月30日までは接種可能となった

平成13年4月より平成14年3月までの大阪府下における幼・小児期の風しんワクチン接種対象者は94,468名で接種者は76,033名で接種率は80.5%で前年より高くなっている。12歳から15歳の接種対象者は73,008名、接種者は10,036名で接種率は13.7%で前年より更に低下している。

上記の接種率は個別と集団を一括した数値である。

例年同様、沈降精製百日ぜき・ジフテリア・破傷風混合ワクチン(D.P.T)の接種率については、府下、各市町村により接種開始年齢が異なるため接種率の算定は困難である。

接種開始年齢は生後6ヵ月が12市町村、12ヵ月が2市町村でその他の市町村は生後3ヵ月より実施している。

日本脳炎ワクチンのⅠ期の接種は生後6ヵ月より90ヵ月未満となっていて、翌年追加接種を1回実施し、Ⅱ期は9歳～12歳（標準は小学4年生）、Ⅲ期は14歳～15歳（標準は中学3年生）となっている。平成13年度のⅡ期の接種率は45.9%、Ⅲ期の接種率は24.1%でⅠ期の接種率は調査不可能である。

最後に本調査にあたりご協力くださいました、大阪府下各市町村の予防接種担当係の方々に深く深謝致します。

平成13年度大阪府下における予防接種の接種率について

地 域 No.	市町村名	I 麻しん予防接種				II DPTおよびDT予防接種						
		接種対象者数	接種者数	接種率	副反応発症の有無	接種方式			接種対象者月齢			副反応発症の有無
						I 期	I 期追加	II 期	I 期	※ I 期追加	II 期	
大阪市	1 大阪市	24,690	23,734	96.1%	無	個別	個別	個別	3～90ヵ月未満	90ヵ月未満	11才～12才まで	無
豊 能	2 池田市	1,330	1,019	76.6%	無	個別	個別	個別	3～90ヵ月未満	3～90ヵ月未満	11才～12才まで(13才未満)	無
	3 箕面市	1,210	1,176	97.2%	無	個別	個別	個別	6ヵ月～7才6ヵ月未満	6ヵ月～7才6ヵ月未満	11才～13才未満	無
	4 豊能町	123	119	96.7%	無	個別	個別	個別	3～90ヵ月まで	12～18ヵ月まで	11才～12才まで	無
	5 能勢町	108	98	90.7%	無	個別	個別	個別	3～90ヵ月まで	12～90ヵ月まで	11才～13才未満 小学6年生	無
	6 豊中市	4,515	4,093	90.7%	無	個別	個別	個別	3～90ヵ月未満	90ヵ月未満	11才～13才未満	無
	7 吹田市	5,460	3,829	70.1%	無	個別	個別	個別	3～90ヵ月まで	12～18ヵ月まで	11才～13才まで 小学6年生	無
	8 摂津市	1,030	907	88.1%	無	個別	個別	個別	3～90ヵ月まで	12～18ヵ月まで	12才～13才まで 小学6年生	無
三 島	9 茨木市	4,621	2,839	61.4%	無	個別	個別	個別	3～48ヵ月まで	12～18ヵ月まで	11才～12才まで 小学6年生	無
	10 高槻市	4,084	3,377	82.7%	無	個別	個別	個別	3～90ヵ月まで	6～18ヵ月まで	11才～12才まで 小学6年生	無
	11 島本町	335	308	91.9%	無	個別	個別	個別	3～90ヵ月未満	3～90ヵ月未満	11才～12才まで	無
北河内	12 枚方市	6,011	4,177	83.4%	無	個別	個別	個別	3～90ヵ月未満	12～18ヵ月まで	11才～13才未満 小学6年生	無
	13 寝屋川市	2,950	2,568	86.7%	無	個別	個別	集団	3～90ヵ月まで	3～90ヵ月まで	小学6年生	無
	14 守口市	1,593	1,322	83.0%	無	個別	個別	個別	3～90ヵ月まで	6～90ヵ月まで	11才～12才まで	無
	15 門真市	1,603	1,485	92.6%	無	個別	個別	個別	3～90ヵ月まで	12～18ヵ月まで	11才～12才まで	無
	16 大東市	1,428	1,333	93.3%	無	個別	個別	個別	3～90ヵ月まで	12～18ヵ月まで	11才～12才まで 小学6年生	無
	17 四條畷市	870	652	74.9%	無	個別	個別	個別	3ヵ月～7才6ヵ月未満	12ヵ月～7才6ヵ月未満	11才～13才未満 小学6年生	無
	18 交野市	942	877	93.1%	無	個別・集団	個別・集団	集団	6～90ヵ月まで	12～18ヵ月まで	11才～12才まで 小学6年生	無
中河内	19 東大阪市	5,979	5,023	84.0%	無	個別	個別	個別	3～90ヵ月まで	12～18ヵ月まで	11才～13才まで 小学6年生	無
	20 八尾市	2,919	2,651	90.8%	無	個別	個別	個別	3ヵ月～7才6ヵ月まで	12～18ヵ月まで	小学6年生	無
	21 柏原市	813	750	92.3%	無	集団	集団	集団	3～90ヵ月まで	3～90ヵ月まで	11才～13才未満 小学6年生	無
南河内	22 松原市	1,908	1,358	71.2%	無	個別	個別	個別	3～90ヵ月未満	12～18ヵ月まで	11才～13才未満 小学6年生	無
	23 羽曳野市	1,571	1,361	86.6%	無	個別	個別	集団	3～90ヵ月まで	3～90ヵ月まで	11才～12才まで 小学6年生	無
	24 藤井寺市	710	656	92.4%	無	集団	集団	集団	6～90ヵ月まで	12～90ヵ月まで	小学6年生	無
	25 大阪狭山市	583	531	91.1%	無	集団	集団	集団	12～90ヵ月まで	12～18ヵ月まで	11才～12才まで 小学6年生	無
	26 美原町	378	316	83.6%	無	集団	集団	集団	12～90ヵ月まで	12～16ヵ月まで	小学6年生	無
	27 富田林市	1,596	1,423	89.2%	無	集団	集団	集団	3～90ヵ月未満	12～90ヵ月未満	小学6年生	無
	28 河内長野市	1,392	1,175	84.4%	無	個別	個別	集団	3～90ヵ月まで	90ヵ月まで	13才まで・小学6年生	無
	29 河南町	160	142	94.7%	無	集団	集団	集団	3ヵ月～7才6ヵ月	3～7才6ヵ月まで	11才～13才まで 小学6年生	無
	30 太子町	165	160	97.0%	無	集団	集団	集団	3～90ヵ月まで	12～18ヵ月まで	小学6年生	無
	31 千早赤阪村	70	64	91.4%	無	集団	集団	個別	3～90ヵ月まで	3～90ヵ月まで	小学6年生	無
堺市	32 堺市	7,912	6,868	86.8%	無	個別	個別	個別	3～89ヵ月まで	6～89ヵ月まで	11才～12才まで	無
泉 州	33 和泉市	2,540	2,171	85.5%	無	個別	個別	個別	3～90ヵ月まで	12～18ヵ月まで	11才～13才まで 小学6年生	無
	34 泉大津市	1,200	1,036	86.3%	無	個別	個別	個別	6～90ヵ月まで	12～18ヵ月まで	小学6年生	無
	35 高石市	939	746	79.4%	無	集団	集団	個別・集団	6～90ヵ月未満	12ヵ月以上経過90ヵ月未満	11才～13才未満 小学6年生	無
	36 忠岡町	237	195	82.3%	無	集団	集団	個別	6～90ヵ月まで	90ヵ月まで	小学6年生	無
	37 岸和田市	2,647	2,280	86.1%	無	個別	個別	個別	3～90ヵ月まで	12～18ヵ月まで	11才～12才まで 小学6年生	無
	38 貝塚市	1,501	987	65.8%	無	個別	個別	個別	3ヵ月～7才6ヵ月	12ヵ月～7才6ヵ月	11才～12才まで 小学6年生	無
	39 泉佐野市	1,417	1,117	78.8%	無	個別	個別	個別	6～90ヵ月まで	12～18ヵ月まで	11才～12才まで 小学6年生	無
	40 熊取町	483	412	85.3%	無	個別	個別	個別	6～90ヵ月まで	初回終了後～90ヵ月まで	11才～13才未満 小学6年生	無
	41 田尻町	83	81	97.6%	無	個別	個別	個別	6～90ヵ月まで	12～18ヵ月まで	11才～13才まで 小学6年生	無
	42 泉南市	796	626	78.6%	無	集団	集団	集団	6～90ヵ月まで	12～18ヵ月まで	11才～12才まで 小学6年生	無
	43 阪南市	755	586	77.6%	無	集団	集団	集団	6～90ヵ月まで	12～18ヵ月まで	小学6年生	無
	44 岬町	152	141	92.8%	無	集団	集団	集団	6～90ヵ月まで	12～18ヵ月まで	小学6年生	無
	合 計		100,799	86,759	86.1%							

地 域	No.	市町村名	Ⅲ 風 し ん の 予 防 接 種									
			幼・小児期			中 学 生						
			接種対象者数	接種者数	接種率	接種対象者月齢	接種対象者数	接種者数	接種率	接種方式	副反応発症の有無	
大 阪 市	1	大 阪 市	24,690	19,845	80.4%	554.4.2~562.10.1以前に生れた方	23,828	1,825	7.7%	個 別	無	
	豊 能	2	池 田 市	1,357	958	70.6%	12才~15才まで(16才未満)	1,690	211	12.5%	個 別	無
		3	箕 面 市	1,145	952	83.1%	(562.10.1以前に生れた)16才未満	707	112	15.8%	個 別	無
		4	豊 能 町	125	121	96.8%	554.4.2~562.10.1に生れた者	1,270	38	3.0%	個 別	無
		5	能 勢 町	110	92	83.6%	12才~16才 中学1~3年生	507	33	6.5%	個 別	無
		6	豊 中 市	3,934	3,363	85.5%	554.4.2~562.10.1生れ(未接種者)	3,809	236	6.2%	個 別	無
		7	吹 田 市	5,460	3,609	66.1%	14才以上~16才未満	4,249	575	13.5%	個 別	無
三 島	8	摂 津 市	1,030	770	74.8%	13才~14才まで 中学1年生	724	73	10.1%	個 別	無	
	9	茨 木 市	3,169	2,283	72.0%	中学2年生と3年生の一部	2,427	878	36.2%	集 団	無	
	10	高 槻 市	3,484	2,924	83.9%	554.4.2~562.10.1生れ(14才)	5,185	213	4.1%	個 別	無	
北 河 内	11	島 本 町	335	304	90.7%	中学2年生(法改正後は対象者変更)	330	188	57.0%	個別・集団	無	
	12	枚 方 市	4,800	3,708	77.3%	12才~16才未満	6,200	210	3.4%	個 別	無	
	13	寝 屋 川 市	2,650	1,947	73.5%	中学2年生	2,190	54	2.5%	個 別	無	
	14	守 口 市	1,393	1,104	79.3%	13才~15才まで	1,402	169	12.1%	個 別	無	
	15	門 真 市	1,503	1,052	70.0%	中学2~3年生	1,145	18	1.6%	個 別	無	
	16	大 東 市	1,428	1,122	78.6%	562.10.1までの間に生れた14才以上	1,227	115	9.4%	個 別	無	
	17	四 條 畷 市	670	495	73.9%	554.4.2~562.10.1以前に生れた方	223	51	22.9%	個 別	無	
	18	交 野 市	990	935	94.4%	中学2年生	524	68	13.0%	個 別	無	
中 河 内	19	東 大 阪 市	6,455	4,625	71.6%	14才~16才まで 中学2年生	769	563	73.2%	個 別	無	
	20	八 尾 市	2,719	2,359	86.8%	554.4.2~562.10.1以前に生れた方	1,748	137	7.8%	個 別	無	
	21	柏 原 市	813	728	89.5%	中学2年生(554.4.2~562.10.1生れ)	375	139	37.1%	集 団	無	
南 河 内	22	松 原 市	1,274	1,147	90.0%	12才~16才未満 中学2年生	596	389	65.3%	集 団	無	
	23	羽 曳 野 市	1,420	1,207	85.0%	12才~15才まで 中学2年生	275	209	76.0%	集 団	無	
	24	藤 井 寺 市	710	596	83.9%	中学2~3年生	262	160	61.1%	集 団	無	
	25	大 阪 狭 山 市	583	464	79.6%	中学2年生(562.10.1以前生まれ)	273	210	76.9%	集 団	無	
	26	美 原 町	440	332	75.5%	中学2・3年生	196	126	64.3%	集 団	無	
	27	富 田 林 市	1,396	1,210	86.7%	562.10.1以前生で12才以上16才未満	99	97	98.0%	集 団	無	
	28	河 内 長 野 市	1,136	1,031	90.8%	16才まで・中学3年生	1,470	15	1.0%	個 別	無	
	29	河 南 町	137	91	66.4%	12才~16才まで 中学2年生	20	3	15.0%	個 別	無	
	30	太 子 町	165	118	71.5%	中学2年生	93	36	38.7%	集 団	無	
	31	千 早 赤 阪 村	48	46	95.8%	中学2年生	41	29	70.7%	集 団	無	
堺 市	32	堺 市	7,912	6,606	83.5%	12才~16才まで(554.4.2~562.10.1生)	3,235	799	24.7%	個 別	無	
泉 州	33	和 泉 市	2,140	2,128	99.4%	12才~16才まで 中学2年生	1,040	502	48.3%	個 別	無	
	34	泉 大 津 市	1,200	961	80.1%	中学1~3年生	150	126	84.0%	個 別	無	
	35	高 石 市	800	693	86.6%	12才~16才未満	6	2	33.3%	個 別	無	
	36	忠 岡 町	187	175	93.6%	中学2年生	162	34	21.0%	個 別	無	
	37	岸 和 田 市	2,262	1,981	87.6%	12才~16才まで 中学2年生	2,006	612	30.5%	個 別	無	
	38	貝 塚 市	1,023	971	94.9%	12才~16才まで(554.4.2~562.10.1生)	835	87	10.4%	個 別	無	
	39	泉 佐 野 市	1,138	1,094	96.1%	12才~16才まで 中学2年生	488	282	57.8%	個 別	無	
	40	熊 取 町	433	392	90.5%	中学2年生(554.4.2~562.10.1生)	245	52	21.2%	個 別	無	
	41	田 尻 町	83	72	86.7%	12才~16才まで 中学2年生	31	8	25.8%	個 別	無	
	42	泉 南 市	796	691	86.8%	562.10.1生で16才未満	396	122	30.8%	集 団	無	
	43	阪 南 市	755	574	76.0%	中学2年生	367	133	36.2%	集 団	無	
	44	岬 町	170	157	92.4%	中学2年生	193	97	50.3%	集 団	無	
合 計			94,468	76,033	80.5%	—	73,008	10,036	13.7%	—	—	

※中学2・3年生に「風しんの予防接種のお知らせ」配布、申込者 99名、接種者97名であった。

地 域	№	市町村名	IV 日 脳 予 防 接 種										副反応発症の有無
			II 期					III 期					
			接種対象者月齢	接種対象者数	接種者数	接種率	接種方式	接種対象者月齢	接種対象者数	接種者数	接種率	接種方式	
大阪府	1	大阪市	9才～13才未満	20,984	4,959	23.6%	個別	14才～15才まで	22,820	1,340	5.9%	個別	無
豊 能	2	池田市	9才～12才まで(13才未満)	1,130	522	46.2%	個別	14才～15才まで(16才未満)	1,010	412	40.8%	個別	無
	3	箕面市	9才～13才未満	1,289	585	45.4%	個別	14才～16才未満	1,444	270	18.7%	個別	無
	4	豊能町	9才～12才まで	271	225	83.0%	個別	14才～15才まで	369	182	49.3%	個別	無
	5	能勢町	9才～13才未満 小学4年生	206	117	56.8%	個別	14才～16才未満 中学3年生	204	44	21.6%	個別	無
	6	豊中市	9才～13才まで	3,547	1,081	30.5%	個別	14才～16才まで	3,828	337	8.8%	個別	無
	7	吹田市	9才～13才まで 小学4年生	3,256	1,142	35.1%	個別	14才～16才まで 中学3年生	3,300	294	8.9%	個別	無
	三 島	8	摂津市	9才～13才まで 小学4年生	760	245	32.2%	個別	14才～15才まで 中学3年生	735	63	8.6%	個別
9		茨木市	9才～12才まで 小学4年生	2,423	1,105	45.6%	個別	14才～15才まで 中学3年生	2,498	418	16.7%	個別	無
10		高槻市	9才～13才まで	3,109	1,450	46.6%	個別	14才～15才まで	3,519	538	15.3%	個別	無
11		島本町	9才～12才まで	323	264	81.7%	個別・集団	14才～15才まで	333	159	47.7%	個別	無
北 河 内	12	枚方市	9才～13才未満 小学4年生	3,797	3,311	87.2%	集団	14才～16才未満 中学3年生	4,016	2,657	66.2%	集団	無
	13	寝屋川市	小学4年生	2,200	1,413	64.2%	集団	中学3年生	2,281	1,071	47.0%	集団	無
	14	守口市	9才～12才まで	1,339	121	9.0%	個別	14才～15才まで	1,392	22	1.6%	個別	無
	15	門真市	9才～12才まで	1,188	149	12.5%	個別	14才～15才まで	1,091	42	3.8%	個別	無
	16	大東市	9才～12才まで 小学4年生	1,305	203	15.6%	個別	14才～15才まで 中学2年生	1,227	38	3.1%	個別	無
	17	四條畷市	9才～13才未満 小学4年生	550	182	33.1%	個別	14才～16才未満	446	51	11.4%	個別	無
	18	交野市	9才～10才まで 小学4年生	786	652	83.0%	集団	14才～15才まで 中学3年生	715	429	60.0%	集団	無
中 河 内	19	東大阪市	9才～13才まで 小学4年生	4,660	2,187	46.9%	個別	14才～16才まで 中学3年生	5,041	718	14.2%	個別	無
	20	八尾市	小学4年生	2,559	1,005	39.3%	個別	中学2・3年生	2,345	348	14.8%	個別	無
	21	柏原市	9才～13才未満 小学4年生	814	432	53.1%	集団	14才～16才未満 中学3年生	748	481	64.3%	集団	無
南 河 内	22	松原市	9才～12才まで 小学5年生	1,202	616	51.2%	集団	14才～15才まで 中学3年生	1,136	309	27.2%	集団	無
	23	羽曳野市	9才～12才まで 小学4年生	1,150	1,092	95.0%	集団	14才～15才まで 中学3年生	950	793	83.5%	集団	無
	24	藤井寺市	小学4～6年生	623	608	97.6%	集団	14才以上の中学2～3年生	609	536	88.0%	集団	無
	25	大阪狭山市	9才～13才まで 小学4年生	527	438	83.1%	集団	14才～15才まで 中学3年生	554	443	80.0%	集団	無
	26	茨原町	9才～12才まで 小学4年生	366	329	89.9%	集団	14才～15才まで 中学3年生	406	322	79.3%	集団	無
	27	富田林市	小学4年生	1,479	1,368	92.5%	集団	中学3年生	1,502	1,077	71.7%	集団	無
	28	河内長野市	13才まで・小学4年生	1,282	1,131	88.2%	集団	16才まで・中学3年生	1,466	957	65.3%	集団	無
	29	河南町	9才～13才まで 小学4年生	174	158	90.8%	集団	14才～15才まで 中学3年生	186	144	77.4%	集団	無
	30	太子町	小学4年生	166	161	97.0%	集団	中学3年生	185	135	73.0%	集団	無
	31	千早赤阪村	小学4年生	62	54	87.1%	集団	中学3年生	71	68	95.8%	集団	無
	堺 市	32	堺市	9才～12才まで	7,246	3,782	52.2%	個別	14才～15才まで	7,281	1,703	23.4%	個別
泉 州	33	和泉市	9才～13才まで 小学4年生	2,014	1,196	59.4%	個別	14才～16才まで 中学3年生	2,026	774	38.2%	個別	無
	34	泉大津市	9才～12才まで	400	333	83.3%	個別	14才～15才まで	180	127	70.6%	個別	無
	35	高石市	9才～13才未満 小学4年生	558	482	86.4%	個別・集団	14才～16才未満 中学3年生	621	492	79.2%	個別・集団	無
	36	忠岡町	小学4年生	193	109	56.5%	個別	中学2年生	162	54	33.3%	個別	無
	37	岸和田市	9才～12才まで 小学4年生	2,182	1,317	60.4%	個別	14才～15才まで 中学3年生	2,138	645	30.2%	個別	無
	38	貝塚市	9才～12才まで 小学4年生	960	511	53.2%	個別	14才～15才まで 中学3年生	863	234	27.1%	個別	無
	39	泉佐野市	9才～13才まで 小学4年生	979	453	46.3%	個別	14才～15才まで 中学3年生	1,004	337	33.6%	個別	無
	40	熊取町	9才～13才未満 小学4年生	430	302	70.2%	個別	14才～16才未満 中学3年生	414	286	69.1%	個別	無
	41	田尻町	9才～13才まで 小学4年生	50	29	58.0%	個別	14才～16才まで 中学3年生	64	16	25.0%	個別	無
	42	泉南市	9才～12才まで	705	188	26.7%	集団	14才～15才まで	669	53	7.9%	集団	無
	43	阪南市	小学4年生	624	583	93.4%	集団	中学3年生	695	317	45.6%	集団	無
	44	岬町	小学4年生	175	157	89.7%	集団	中学3年生	212	197	92.9%	集団	無
	合 計				80,043	36,747	45.9%			82,756	19,933	24.1%	

地 域	No.	市町村名	ワクチンの購入方法			ワクチンの追加物等に関する医師会からの要望			接 種 負 担 金								
			(1)	(2)	(3)	有	なし	記載なし	麻疹	DPT	D T	風疹(幼・小)	風疹(中学)	日崩(I)	日崩(II)	日崩(III)	
大 阪 市	1	大 阪 市			○★a			○	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費
	2	池 田 市			○		○		公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費
	3	箕 面 市			○★b			○	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費
	4	豊 能 町	○				○		公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費
	5	能 勢 町			○★c		○		公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費
	6	豊 中 市			○★d		○		公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費
	7	吹 田 市	○				○		公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費
三 島	8	摂 津 市			○★e			○	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費
	9	茨 木 市		○★f				○	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費
	10	高 槻 市	○				○★1		一部個人	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費
北 河 内	11	島 本 町		○				○	一部個人	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費
	12	枚 方 市	○				○		公費	公費	公費	公費	公費	一部公費	一部公費	一部公費	
	13	寝 屋 川 市	○※1				○		公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費
	14	守 口 市			○★g			○	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費
	15	門 真 市			○★h		○		公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費
	16	大 東 市			○★i		○		公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費
	17	四 條 畷 市			○★j		○		公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費
	18	交 野 市	○※2				○		公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費
中 河 内	19	東 大 阪 市			○★k			○	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費
	20	八 尾 市			○★l			○	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費
	21	柏 原 市	○				○★2		公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費
南 河 内	22	松 原 市	○				○		公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費
	23	羽 曳 野 市	○※3				○		公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費
	24	藤 井 寺 市			○★m			○	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費
	25	大 阪 狭 山 市	○				○★3		公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費
	26	美 原 町	○				○★4		公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費
	27	富 田 林 市			○★n		○★5		公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費
	28	河 内 長 野 市			○★o				公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費
	29	河 南 町			○★p			○	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費
	30	太 子 町	○				○★6		公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費
	31	千 早 赤 阪 村		○				○	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費
堺 市	32	堺 市			○★q			○	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費
泉 州	33	和 泉 市			○★r			○	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費
	34	泉 大 津 市	○				○		公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費
	35	高 石 市	○				○		公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費
	36	忠 岡 町	○				○		公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費
	37	岸 和 田 市			○★s		○		公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費
	38	貝 塚 市			○★t		○		公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費
	39	泉 佐 野 市			○★u		○★7		公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費
	40	熊 取 町	○				○		公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費
	41	田 尻 町			○★v			○	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費
	42	泉 南 市			○★w				公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費
	43	阪 南 市	○				○		公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費
	44	堺 町	○				○		公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費
合 計																	

ワクチン購入方法 (1) 市町村でメーカーをきめ一括購入 (2) 各医療機関希望のメーカーのワクチンを購入して配布 (3) その他

★a各医療機関で購入 ★b医師会で選択し購入、配布 ★c市町村が価格により決めた業者より購入 ★d各医療機関で購入し、市へ請求
★e医師会がメーカーを決め、一括購入 ★f医師会が配布 ★g各医療機関で購入。市は関与せず。 ★h各医療機関で購入
★i個別接種につき各医療機関で購入 ★j各医療機関に委託 ★k各医療機関で独自に購入 ★l各医療機関で購入 ★m個別では、各医療機関毎に購入
★n市町村でメーカー（複数）を決めてその中から各医療機関が選んで使用 ★o各医療機関で独自で購入
★p各医療機関希望のメーカーのワクチンを各医療機関で購入し、町が費用負担 ★q各医療機関で購入 ★r医療機関で購入（市からメーカーの指定なし）
★s各医療機関で購入（委託料の中にワクチン代含む） ★tワクチン代込みの金額で委託料設定。ワクチンは各々の医療機関で希望ワクチンメーカーのものを購入
★u契約検査費で入札、決定 ★v医師会との申し合せにより市にて決定 ★wメーカー特に指定せず入札により決定
※1個別接種については、各医療機関で購入 ※2各種ワクチンを購入するにあたり、市医師会の予防接種担当医師と協議のうえ購入
※3個別接種分は各医療機関毎に購入し、ワクチン代含みで医師会契約。
☆1ゼラチンフリーのワクチンを選択させて欲しいという要望 ☆2ゼラチンが入っていない物。チメロサルが比較的少ない物
☆3チメロサルの含有量が少ないもの ☆4ゼラチンフリーのワクチンを選択 ☆5ゼラチン含有していないもの ☆6ゼラチンを含まないものを使用
☆7ゼラチン、アルブミン含まないもの

平成7年度
大阪府下における予防接種の実施成績に関する研究
(風しん・中学生)

<個別接種>

自治体	接種対象者数	接種者数	接種率
大阪市	25,755	1,008	3.8 %
大池田市	1,800	203	11.3 %
箕面市	1,524	219	14.3 %
豊能町	791	182	23.0 %
能勢町	525	61	11.6 %
豊中市	4,182	121	2.9 %
吹田市	7,619	769	10.0 %
高槻市	3,644	331	9.1 %
守口市	1,339	136	10.2 %
門真市	1,301	37	2.8 %
大東市	1,402	46	3.3 %
四條畷市	858	34	4.1 %
八尾市	2,971	275	9.3 %
堺市	9,340	1,296	13.9 %
泉大津市	700	20	2.9 %
岸和田市	2,312	936	40.5 %
貝塚市	2,700	252	9.2 %
17市	68,763	5,926	8.6 %

<集団接種>

自治体	接種対象者数	接種者数	接種率
摂津市	1,012	289	28.5 %
茨木市	3,521	1,599	48.4 %
枚方市	3,520	2,917	82.8 %
寝屋川市	2,841	780	29.5 %
交野市	820	408	49.6 %
東大阪市	11,333	4,806	42.4 %
柏原市	1,368	458	33.5 %
松原市	1,342	645	48.1 %
羽曳野市	1,424	632	44.3 %
藤井寺市	761	537	70.6 %
大阪狭山市	925	490	53.0 %
美原町	620	360	57.2 %
富田林市	2,357	1,103	46.8 %
河内長野市	1,914	1,235	64.5 %
河内南町	154	115	74.7 %
太子町	140	124	88.6 %
千早赤阪村	96	67	69.7 %
和泉市	2,112	1,431	67.6 %
高石市	747	496	66.4 %
高忠岡町	336	163	48.5 %
泉佐野市	1,451	429	29.6 %
熊取町	586	285	48.6 %
田尻町	110	32	29.1 %
泉南市	757	206	27.2 %
阪南町	723	534	73.2 %
岬町	231	139	60.2 %
26市	41,201	20,280	49.2 %

注) 集団と個別を併用した島本町は集計から除外した。